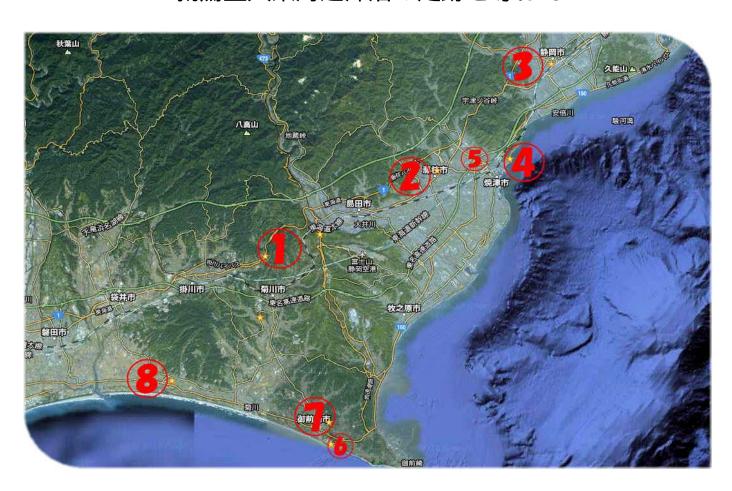
正尊寺仏教壯年会研修旅行

~ 親鸞聖人東海道帰洛の足跡を尋ねて~



日程表 平成24年7月7日(土)~8日(日)

【第1日目】

正尊寺 (7:00出発) → 名神・東名 → 掛川IC

- ①掛川八坂の草庵跡(親鸞聖人杖掘の井戸) → 昼食 →
- 2 藤枝:蓮生寺 →
- 3静岡:教覚寺光蓮寺 → 4焼津グランドホテル 泊

【第2日目】

ホテル出発 → 5焼津魚センター → 6浜岡原発電力館 → 昼食 →

- 7桜ヶ池(法然聖人大蛇済度) →
- 8蓮舟寺(川越蓮台) →袋井IC → 正尊寺

○掛川八坂の草庵跡

掛川市八坂131 山本家 tel 0537-27-0780



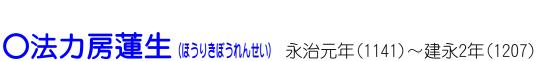
親鸞聖人62才頃、関東から京都への帰洛時に宮村の山本家に3ケ月逗留されました。

そのお礼にと掛け軸3幅が贈られ、先祖代々曹洞宗の檀家でありながら、母屋の隣にお堂を立

て現在までお給仕したこられた。 平成22年12月、親鸞聖人750回大遠 忌お待ち受けとして、東京教区が

企画した "親鸞聖人のみあとを訪ねて〜稲田から本山へ歩く〜"で、参加者がこのお堂を訪ねたことがNet上に紹介され、こうした草庵が今も残っていることが知れ渡りました。

屋敷の内には、親鸞聖人が杖をたてら、水が湧き出したという 古井戸も残っています。



熊谷直実(くまがい なおだね) 関東熊谷郷出身の武将で、源平 ーノ谷の合戦で、我が子と同じ16才の平敦盛を討ち 取り、世の無常を思い法然聖人の弟子となり法力房 蓮生と名乗った。

謹厳実直の蓮生は、阿弥陀さまのいらっしゃる西方 浄土へ背を向けては失礼であるとして、馬に逆さに 乗り、路々、念仏を唱えながら、板東に下った。



このことは人々の関心を集め、不背西方の念仏行者の蓮生としてその名は全 国の念仏信者の知るところとなった。

「浄土にも剛の者とや沙汰すらん 西に向かひて後ろ見せねば」

〇藤枝:蓮生寺 (ทุกปรุวัน)

藤枝市本町1-3-31 tel 054-641-2156



蓮生は建久6年(1195)故郷に残してきた老母が病気であることを知り、見舞いのため熊谷庄へ帰る途中、小夜の中山では盗賊にあい、旅銭、法衣らすべてを与えてしまった。

路銀に困り藤枝宿の福井憲順に借用を頼み、その質草として十声の念仏を唱えると、庭の池の 蓮の花が十個一度に咲き出した。(黄金の如来 像という異説もある)

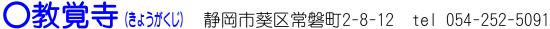
憲順から「これは有り難き奇瑞なり」と、銭と法衣を与えた蓮生房は熊谷の母を見舞ことができた。

翌年、帰洛の途上、路銀の返却のため憲順の屋敷を訪ね、憲順に十声の念仏

を返させると、庭の蓮の華もすべて消えたとも言われている。 憲順は蓮生房の教化により念仏に帰依し、法名を蓮順と改め、 福井家を寺とし熊谷山蓮生寺となした。

その後、親鸞聖人が帰洛の折に立ち寄られ、教化を受け浄土真宗となり現在は東本願寺の末寺となり続いている。







教覚寺は1234年、親鸞聖人が関東より京都にお帰りになられた時、今の清水市に居住していた光信房という方が、聖人の教えに帰依して、弟子となり、自宅を転じて一寺を建立し、念仏の道場としたのが起こりです

平成11年に共同墓「教覚寺法縁廟 (ほうえんびょう)」が完成し、境内の門徒

墓所の改装が始まり、境内を広げて教化と安らぎの場に開放し、大勢の門信徒が集うお寺です。



○桜ケ池はくらがいけ

御前崎市佐倉 5162



法然聖人大蛇済度の伝説が残る池です。 皇円阿闍梨(こうえんあじゃり)は法然聖人の師匠で、 衆生済度のため弥勒菩薩の降臨を待つ大蛇 となられた。

桜ケ池で大蛇となられた皇円阿闍梨と再会 された法然聖人は、阿弥陀仏の今現在の本 願の救いを説かれ、念仏をすすめ湖底で待

つ苦しみを解消されました。

この龍神済度の伝説がお櫃納(かかめ)という行事として現在も続いています。

○蓮舟寺 (カムレゆうじ)

掛川市西大渕1260 tel 0537-48-2451



江戸時代本願寺ご門主が東海道通行の際に使用された、大井川越え専用の輦台(ハルゼル)を預かるお寺です。

静岡県は本願寺派のお寺が少ない地域で、大井川以西で 一番近く、本願寺より土蔵を建て蓮台の保管を命ぜられ ていました

ご門主の通行が蓮舟寺に知らされると、その輦台を門徒 一同金谷まで運び、往復の用が済めば、またまた蓮舟寺 まで戻して置いたと伝えられています。

参加者名簿

		氏 名	電話	携帯電話	部屋
住職	1	杉山 雲来			
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				